

合掌苑だより

# かやの実



児童養護施設 合掌苑 〒501-4101 岐阜県郡上市美並町上田 674

電話 0575-79-2914

FAX 0575-79-3584



## 「施設・家庭・そして地域」

合掌苑 苑長 成澤 武史

令和7年度がスタートし、また子ども達も一つ学年が上がり日々成長しています。今年度も新たな職員を迎える、職員も各々成長をしていきたいと思っておりますが、皆様どのようにお過ごしでしょうか。

昨年4月に分園型小規模グループケア4棟が完成し、合掌苑として完全小規模に移行して1年が過ぎました。子ども達の暮らしは、より家庭的になり各ホームにおいてプライベートな個室が確保され、食においても各ホームでの調理をしており、穏やかな日常が流れています。

ただ、職員体制においては、小規模なホームを形作り、日々を守っていくということは、より施設が家庭に近づいたということで、大変なことです。職員の人数も増え、連携しながら、そこで働く職員は調理を伴った子どもの対応、支援を行わなければなりません。従来の児童指導員・保育士の動きとは、大変な違いがあり、毎日を作っていく苦労がそこにはありました。

そのような中でも、3月に行われた“お別れ会”、高校3年生5人を含む6人が退所していました。その子ども達の思い出のスピーチの中に、“食”に纏わるエピソードが数多く聞かれたことは、“食”を通して関わられる新たな手法が増えたように感じ、大変な頃とはまた違った大変さと新たな可能性を感じております。

児童養護施設は全国に600カ所ほどあります。全国の虐待相談件数は22万件を超え、依然、過去最高を更新し続けており、その内一時保護に至るケースは約3万件、実際に施設に入所に至るケースは4~5千件です。つまり、虐待かも・相談が挙がった内の2%しか手が入っていないとも言われています。

合掌苑も今後、入所児童だけでなく、地域の家庭の中で関りを求めている子ども・家庭に向けて、関わり、支援していくよう、今年度、本館の大規模修繕を予定しております。これにより、入所児を支えるセンター機能だけでなく、短期的に子ども・親子を預かれる事業、子育て相談、心理相談、自立支援の強化を図れる拠点づくりを目指します。

法人として様々な事業に応えられるには、人材の確保と育成が軸となります。児童養護施設も以前は職員配置が乏しく、24時間365日子ども達の生活を守ることから、特に女性は結婚・出産を機に退職される方がほとんどでした。退職していった多くの職員が仕事が嫌になった訳ではなく、自身の家庭との両立に悩んだ結果でした。苑では今年度から、育休明け職員が子どもを連れて出勤出来るよう、認可外保育事業を始めました。幸い多くの保育士、児童指導員で養護に当たっている事業ですので、皆で協力して“合掌苑版こども真ん中社会”的な日常生活が流れています。

少子化が問題になっている昨今ではありますが、支援を必要としている子ども達、家庭は逆に増えている印象があります。時代のニーズに合わせ成長できる法人運営を目指していきますので、引き続きのご理解とご支援、応援して頂きますようお願い申し上げます。

令和7年度

# 担当紹介



いち葉



兄妹支援を大切にしています。  
ゲーム・スポーツとそれぞれ好きなことに取り組んで  
います！

職員：5人 子ども：5人

ふた葉



小学生から高校生までの男の子が過ごしています。  
みんなでUNOやトランプを楽しみ、賑やかな毎日です！

職員：4人 子ども：5人

みつ葉



マンガや読書が好きな子どもたちです。  
年上と年下が仲良く遊ぶことができる暖かい棟です！

職員：4人 子ども：6人

## よつ葉



サッカーやバレー等、身体を動かす遊びが  
大好きな男の子たちですが、幼児さんにはメロメロ  
です♥

職員：4人 子ども：6人



## かやのみ館



毎日元気いっぱいの幼児たち。  
中高生は部活や1日1ページ自主学習を頑張って  
います！

職員：5人 子ども：7人

## 明日葉



合掌苑唯一の地域に出ている小規模棟。  
兄弟支援を大切にしています。

職員：5人 子ども：5人



# 行事報告～令和7年冬から春～

## 卓球大会

1月13日 岐阜県児童福祉施設交流卓球大会に参加しました。

男女それぞれ小・中・高以上の年代ごとに分かれて各々精一杯やり切りました。

放課後や休日に、自ら練習の機会を設け、気合を入れて取り組んでいました。

いざ向かった試合当日は自分の試合だけでなく、コートの周りで応援をしたり、

他施設の子どもたちともコミュニケーションをとったりとても楽しんでいました。

団体戦開始前には、円陣を組んで「絶対勝つぞー！オーッ！！」と年齢を超えて一丸となる姿も見られました。

結果、各部門で多くの入賞を果たし、団体戦でも優勝という好成績を収めました！

来年の卓球大会も、目指せ優勝！



## Yリーグ

2月11日 Yリーグという施設交流のサッカー大会がありました。

こちらも年代別での試合が組まれ、どの試合も頑張っていました。

大会前は近くの広場やグラウンドで何度もサッカーの練習をする姿があり、

それを見ている子ども達も良い刺激を受けていました。

初戦の対戦施設は、これまでに負けたり引き分けたりが多く、

何度も煮え湯を飲まされていましたが、3-1で勝利することができ、

そこから波に乗ってリーグ初優勝を飾る事までできました。

どの試合もコートの中の選手だけでなく、コートの周りも全力で応援し一致団結する姿にとても感動しました。



## お別れ会

3月15日 お別れ会がありました。今年度は5名の児童が年度終わりに退所しお別れ会に参加しました。

保育園に上がる子、小学校に上がる子、中学校に上がる子、高校生になる子へのおめでとうの紹介に始まり、担当の職員さんから退所する子にメッセージとアルバムを渡しました。メッセージは感動と寂しさで涙がいっぱい。

子どもたちからのメッセージでは合掌苑に来た頃から卒業までの思い出をいっぱい話してくれました。

いつも言葉数の少ない子もお別れ会では沢山の思い出を

話してくれてとても感動する会でした。

これまでも、今も、この先もみんなのことを

ずっと大切に思っています。



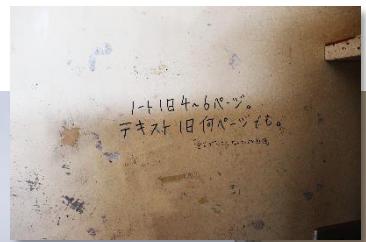
子ども玄関



子どもの居室



壁の落書き



ただいま 本館改装

# 準備中

we are preparing



今年度、本館の改築を計画しています。

慣れ親しんだ本館が変わる前に、

こちらにも少し今の本館の写真を残しておきたいと思います。



食堂

炊事裏（報恩寮前）



## 新人職員紹介



私たちが  
令和7年度の  
新人職員です！  
よろしくお願ひ  
します！

イラストで失礼します！



今年度は、総勢7名の新人職員が仲間入りしてくれました。これから合掌苑を支えていけるよう、頑張ってもらいたいと思います。ご指導ご鞭撻、および応援のほどよろしくお願いします。

## の温かい心

(令和6年12月～令和7年4月)

合掌苑の苑児たちに沢山の方々から、温かいご支援を賜りました。略儀ながら紙面にお名前を掲載して御礼の言葉にかえさせていただきます。ありがとうございました。

(一財)日本児童養護施設財団	(株)Daska & Desiree	(株)一松 高木一也	(株)チュチュアンナ 1%クラブ		
(株)パイロットコーポレーション	(株)ほしつぶ	24時間テレビチャリティー委員会	JAめぐみの		
CBCチャリティ募金 事務局	HAND IN HANDプロジェクト 三浦早織	tetote	相川正剛、恵美		
浅井いのる、祈玄	アマゾンほしいものリスト	安養寺	一柳芳之	内海産業(株) 名古屋支店	
永昌寺	延寿寺	大垣共立銀行	大島哲夫	岡田隆子	小川明
小椋庸行	鬼塚菜美子	お寺市実行委員会	カーブス	河合しのぶ	岐阜北建設
岐阜県児童福祉協議会		岐阜県中濃子ども相談センター		ぎふ就労支援センター	郡上大人サンタ
郡上市社会福祉協議会 地域福祉課	グレーヌデラブル	小池いく代	小鷹啓徳	昭和企画(株)	
サンクスアクティビティー 杉本憲男	鶩見明	鶩見玲奈	竹内刃物製作所	田代泰明	
筒井照明	手打ちそば かとう	東洋産業(株)	ドミノ・ピザ	トヨタL&F中部株式会社	
とんかつ かつ弥	中野みゆき	西脇建設	日本鏡餅組合	日本ゼネラルフード(株)	ベッカライフジムラ
福手淳子、畠佐和明、国田祐子	北辰寺	前田富子	藤川泰広	ムーンバット(株)	
山下シーナ	山創(株)	山田久美子	有限会社和田ファーム	和田雅也	ワールドメイト
若鶴の春近	渡利實				

★勝手ながら敬称を省略させていただきました。万一誤表記、掲載漏れがございましたら、なにとぞご容赦願います。

## <後援会「友の会」について>

- ・親と一緒に暮らせる子もであるからこそ、豊かな生活・豊かな環境が保障されなければなりません。この為にも合掌苑では後援会組織「友の会」を結成しております。
- ・会費3,000円、皆様のお力添えをお願い致します。
- ・詳細については、「友の会」事務局、合掌苑までご連絡下さい。

☆ 友の会としてご入金いただいたお金は、合掌苑 施設会計に寄付金として計上し、子ども達の生活に役立たせていただきます。今後とも皆様には引き続き倍旧のご厚情を賜りたく、お願い申し上げます。皆様のご健康とご発展をお祈り申し上げます。

## 編集後記

毎年、年度初めは担当紹介を載せていますが、今年度は学習に力を入れたい子どもたちが多いように感じています。新しく学習支援の職員を配置したことの影響もあるかもしれません、子どもが自ら頑張る姿を見せてることもあり、大人も責任もって支援応援していきたいと思います。

とは言ったものの、勉強をすることが苦手な大人も多い??子どもたちと一緒に勉強していきたいと思います!

インスタグラムでの情報発信もぜひご覧ください♪



@GASHYOUEN\_GIFU\_INFO